

ちいき福祉だより

かかし

(発行元) 中津市社会福祉協議会
 地域福祉課地域福祉推進係山国
 〒871-0712
 中津市山国町守実89番地1
 (山国社会福祉センター内)
 TEL 0979-62-2898
 FAX 0979-62-2905
 E-mail yamakuni-chiiki@nk.oct-net.jp

やまくにの福祉を考える！よりよい地域に！
第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画
 ～ 第3回作業部会～



10月27日、第4次地域福祉計画・活動計画の後半となる第3回作業部会を行いました。今回は、以下の第3次地域福祉活動計画である振り返りアンケート集計(①～④)からみた住民の意識や思いを整理する作業となりました。

- ①見守り体制づくり (一人暮らしや高齢世帯など隣近所の声かけ見守りができているか)
- ②自主防災組織 (災害時には、地域で助けあい避難することができる)
- ③地域住民の交流の場 (子どもから高齢者までいろんな人が参加できる地域の行事がある)
- ④地域住民の交流の場 (地域の問題を考える場に参加しようと思う)

アンケート評価としては、おおむね60%～70%の方ができていると回答がありましたが、そう思わない方の意見や作業部会員さんからの意見として次のような意見があがりました。

- ⑥見守られている側はどう思っているか？一方的になっていないか？
- ⑥見守りネットワークづくりを知らない人が多い
- ⑥防災訓練や災害学習ができていない
- ⑥消防団はまとまっているが消防団がない
日中の対応が心配
- ⑥昔より行事の回数が減っている、伝統行事は継承していきたい
- ⑥参加するひとが決まっている
- ⑥参加する時間にゆとりがない 等々

問題の解決に向けてやるべきこととして以下のような意見がでました。

- ◎訪問して声かけの機会を多く作るようにする
- ◎困ったときに助けてといえる関係作りをする
- ◎防災訓練を小地区で実施する
- ◎普段から消防団員との話し合いや交流会を持つ
- ◎若者の意見や新しいものを取り入れた行事も行う
- ◎リーダーが必要 等々



住民型有償サービス 「つゆくさサービス」と玖珠町との交流会



地域住民同士の「ちょっと手伝ってほしい。」をお手伝いする会員制住民型有償サービス「つゆくさサービス」が発足して5年が経ちました。その間、困りごとの相談や作業など多くのお困りごとに対応し、利用されている方々からは大変喜ばれています。

10月11日、住民型有償サービスの立ち上げを予定している玖珠町八幡地区くらしのサポートセンター設立準備会の14名の皆さんがつゆくさサービスの活動やしきみなどを知るために視察に来られました。

各代表あいさつの後、自己紹介をしてつゆくさの活動紹介や意見交換が和やかに始まりました。玖珠町の皆さんも依頼の受け方や作業内容、ハート券などのことを熱心に質問をしたりと予定時間を30分もオーバーするほど盛り上がりしました。

最後に視察を代表して阿部さんより「手を差し伸べる気持ちとボランティア精神が必要だと思いました。立ち上げに不安もありますが参考にさせていただきます。」と感想を述べられました。

つゆくさサービスからは水谷治義マネージャーが「今日は自分たちがやってきた活動がこれでよかったのか振り返る良い機会となり、ますます頑張らなければと皆さま方に元気をもらいました。設立に向けて頑張ってください。」と閉会のあいさつで終了しました。最後は皆さん

第4回作業部会は11月17日(水)10:00～です！ご参加お願いいたします！

山国中学校 シトラスリボン運動への取り組み



「シトラスリボン運動」は、コロナにかかった人や医療に関わる従事者の方を差別しないように柑橘系の色のひもで三つ葉を形どったりボンを作って呼び掛ける活動です。

10月10日、山国中学校の生徒会役員(乗嶋恵里加さん、佐竹美咲さん、木村夏規さん)が社協山国に壁新聞と手作りのシトラスリボン70個を持って来ました。会長の桑島さんから「この運動がたくさんの方に伝わるように、また、早くコロナが収束するように心を込めて作りました。社協に訪れる方に配ってください」とあいさつがありました。ありがとうございました。



かかしと共に19年！『六助工房村』 月木国夫・勝子夫妻

2年ぶりのかかしワールドが見る人の心に幸せを運んでくれています。「やはり、この時期はかかしがなけりゃ」「まるで人間が立っているようだね」など見る人の心をわしづかみにする“かかし”は何とも言えないオーラを発しています。19年前、その発信者となった月木国夫・勝子夫妻の六助工房にお邪魔してお話をお聞きしました。

○今までかかしづくりをしてきてどうでしたか？

- ・友達もたくさんできて今でも深い交流が続いています
- ・とにかく楽しかった。期間中忙しいときは昼ごはんを食べる暇もないほどでした

○かかしづくりのエネルギーはどこから？

- ・山国の方の応援とか期待。時代に合ったものを作った時は感心してくれる顔を見ると嬉しくなります
- ・遠方からのお客さんが「昔のことを思い出して元気が出た」と帰られる時の笑顔を見たときなど、また頑張ろうと思えます

○お二人にとって「かかし」とは？

- ・最初は友達と遊び心で作った2～3体のかかしがこんなに喜ばれて成長していく中で、自分たちが「かかし」に元気と勇気をもらいました。また、その間病気をする暇もなく過ごさせてくれたかかしたちはもう一つの家族といってもいいくらいのもんですね

お客さんの中には「チラシではなく、本物の魚釣りのかかしと勝子さんに会えたのがうれしい！」と言って帰られる方もいるそうで、かかし作者の勝子さんファンも根強いようです。

※やまぐにかかしワールド11月21日まで開催中です。

かかしに会いに出かけてみませんか？



やっぱりお出かけサロンはいいねえ～！



10月21日(木)守実公民館元気クラブの皆さん17名でお出かけサロンバスツアーに行きました！

当日は中津市クリーンプラザ、中津市歴史博物館、道の駅『春夏秋冬』でお買い物、三光コスモス園に行きました。八面山をバックに一面コスモスの中を歩き、秋の風を感じながら過ごすことができました。「久々の息抜きになって良かった」「バスに乗って遊びに行けて楽しかった」と笑顔でおっしゃっていました。

大丈夫？忘れ物ない？と常に声を掛け合い、歩幅を合わせたり、さっと荷物を持ってあげたり、自然に支え合い、笑い声の絶えない一日でした。久々のお出かけに身も心もリフレッシュできたようです。



10月28日、快天に恵まれた槻木サロン16名が今年もお出かけサロンを行いました。

今年は、2年ぶりの高塚参拝、宝屋で昼食をした後スーパーで食料品や日用品などの買い物をして帰りました。

サロンも高齢化して来ていることから、裏谷のボランティアの方々にも協力してもらい、無事に楽しいお出かけサロンとなりました。前谷の方は「これをきっかけに裏谷の方も是非サロンに参加してください」とおっしゃっていました。



第2弾

見守りネットワーク“HARUDA”

「大分県土砂災害避難促進 アクションプログラム」

10月17日(日)プログラムの第2弾が行われました。

今回は土砂災害ハザードマップをもとにした『まち歩き』を行いました。

春田地区を寺川・東・朝小野の3つのグループに分け、それぞれの地区を県や市の職員さんと一緒に歩いて、第1次避難所の確認、避難する道中や近隣の危険箇所を確認していきました。

数年前の豪雨の経験をもとに、今後どうするか、どんな災害が起こりえるかを話し合っていました。

自分の事だけではなく地区全体の事、近隣の人のことを第一に考えておられ、近所の方とのつながりの大切さやありがたさを感じながらのプログラムでした。



《相談日のお知らせ》

ほっとテラス

日時 11月17日(水) 14時・15時
1月19日(水)

場所 中津教育福祉センター

悩みごとや心配ごとで不安な毎日を過ごしていませんか？精神科医が“こころの健康相談”を行ってくれます。

相談を希望する方は、予約制になっていますので、事前の連絡をお願いいたします。相談は無料です。

TEL 23-2095

心配ごと相談

日時 12月8日(水)9時～12時

場所 山国社会福祉センター

身近な事やちょっとしたお困りごとなど抱えていませんか？誰かに話してみることで解決の糸口が見えることもあります。

山国地区の民生委員さんが、いろいろな心配事の相談に応じてくれます。お電話でも相談できます。お気軽にご相談ください。

TEL 62-2898



かかしワールド「つや姫村」でめじろんがついに空を飛びました。「ドローン先進県」を目指して産官学で力を合わせ取り組んでいる

ことから「市平からも応援！」と作った森山さんはおっしゃっていました。発想に脱帽です！（地域福祉推進係山国）